

ヘルスプロモーションコース

1 必修専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK001	スポーツ・ヘルスプロモーション論概論		1	2.0	1・2	春AB	水7,8	菊 幸一, 高橋 義雄, 尾縣 貢, 山口 香, 久野 譜也, 柴田 愛, 水上 勝義, 辻 大士	現代社会におけるスポーツプロモーションとヘルスプロモーションの理念を理解し、その相互の合理的な関係化による相乗効果を上げることの重要性について学習する。スポーツとヘルスの相関的・相乗的な関係の基本理念とその哲学について、人間存在の生理的・心理的・社会的な特質との関係から概説する。また、現代社会における長寿化人生、ハイテク・情報化生活等の生活変容に注目しながら、人間存在の現代的課題を取り上げ、そこにおけるスポーツ文化享受による健康開発の可能性を環境世界、社会・文化生活、諸個人のライフスタイルやライフステージとの関係から概説し、エコロジーと共生を希求する21世紀世界におけるスポーツ・ヘルスプロモーションの相乗的な効果を上げるための政策課題について講義する。	履修は本学位プログラムの在籍生に限るOATS011と同一。
01EK002	スポーツ・ヘルスプロモーション方法論		1	1.0	1・2	春C	水7,8	2F講義室7 菊 幸一, 尾縣 貢, 水上 勝義, 柴田 愛, 渡部 厚一	スポーツ・ヘルスプロモーションの修士論文・特定課題研究報告書の作成のために必要な基礎的な方法論について概説する。各自の研究計画の実現に向けて、研究デザインと科学的方法の客観性を担保する方法基礎論を理解し、文献や資料のオンライン検索の方法を学ぶ。また、社会調査法の一般的な手順を概説する。さらに、調査や実験データの分析法、検定法などの統計手法について、分析や検定結果の解釈法について文献を用いて理解したり、実際に統計解析ソフトを用いながら理解を深める。	OAS0603と同一
01EK003	スポーツ健康研究方法論I		2	1.0	2	春ABC秋A	随時	菊 幸一, 高橋 義雄, 尾縣 貢, 山口 香, 久野 譜也, 柴田 愛, 水上 勝義	研究計画を立案し、研究テーマを設定し、研究テーマ届を提出することを目標とする。スポーツや健康のプロモーションやマネジメントに関する研究について担当教員の指導のもとに先行文献を参照しながら研究計画を立案し、研究テーマを設定し、研究テーマ届を提出する。	OATS021と同一。

2 選択専門科目(共通)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK004	スポーツ健康研究方法論II		2	1.0	2	秋A	随時	菊 幸一, 高橋 義雄, 尾縣 貢, 山口 香, 久野 譜也, 柴田 愛, 水上 勝義	学位論文中間発表会に終日参加し、研究進捗状況や構想、データ収集および分析状況について発表ができることを目標とする。スポーツ・ヘルスプロモーションの修士論文・特定課題研究報告書の作成のために必要な基礎的な研究方法について、学習する。スポーツや健康のプロモーションやマネジメントに関する研究に、設定した各自の研究テーマに基づき、担当教員の指導のもとに、研究を実施し、資料・データの解析、プレゼンテーションの方法等について学ぶ。そして、学位論文中間発表会に終日参加すること、および、研究進捗状況や構想、データ収集および分析状況について発表を行う。	OATS032と同一。
01EK005	スポーツ健康研究方法論III		2	1.0	2	春A	随時	菊 幸一, 高橋 義雄, 尾縣 貢, 山口 香, 久野 譜也, 柴田 愛, 水上 勝義	学位論文中間発表会に終日参加し、研究進捗状況や構想、データ収集および分析状況について発表ができることを目標とする。スポーツ・ヘルスプロモーションの修士論文・特定課題研究報告書の作成のために必要な基礎的な研究方法について、学習する。スポーツや健康のプロモーションやマネジメントに関する研究に、設定した各自の研究テーマに基づき、担当教員の指導のもとに、研究を実施し、資料・データの解析、プレゼンテーションの方法等について学ぶ。そして、学位論文中間発表会に終日参加すること、および、研究進捗状況や構想、データ収集および分析状況について発表を行う。	9月末修了予定で、「01EK004」を未修得の者用OATS033と同一。

2-2-1 選択専門科目(ヘルスプロモーション領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK401	ヘルスプロモーション論特講		1	2.0	1・2	春AB	火7,8	久野 譜也	健康増進政策とは何かを理解した上で、国、県、市町村における健康政策の現状と課題を把握する。さらに健康政策の具体的な策定方法における基礎的理解を深める。我が国及び諸外国における運動を中心としたヘルスプロモーションのための政策課題について概説し、その目的、内容、方法等の特徴を明らかにするとともに、我が国における今後のヘルスプロモーションの政策課題の方向性について講義する。	OATS410と同一。
01EK412	ヘルスプロモーション論演習I		2	1.0	1・2	春ABC	随時	久野 譜也	ヘルスプロモーションのためのスポーツ実践の条件と要因を導き出すとともに、学生の実践的課題に対応しながら、スポーツによるヘルスプロモーションのためのシステム編成とそのマネジメント、資源整備及びプログラム開発等の具体的な方法について演習する。	OATS411と同一。

01EK413	ヘルスプロモーション 論演習2	2	2.0	1・2	秋AB	火7,8	久野 譜也	ヘルスプロモーションのためのスポーツ実践の条件と要因を導き出すとともに、学生の実践的課題に対応しながら、スポーツによるヘルスプロモーションのためのシステム編成とそのマネジメント、資源整備及びプログラム開発等の具体的な方法について演習する。また、感染症、心身疾患あるいはドーピング等のスポーツにおける健康阻害状況に関する具体的事例も取り上げ、その発症のメカニズムを分析し、その原因と対策について検討する。	OATS412と同一。
01EK405	ヘルスプロモーション 論実習	3	1.0	1・2	通年	随時	久野 譜也	地域もしくは職場における健康づくりの実態を理解する。また、それらをレポートにまとめ、発表できる能力を養成する。ヘルスプロモーションに関する実践的課題を取り上げ、それをシステムの課題に洗練するとともに、現職やそれと関わるフィールドワークを通じて、課題解決に志向したシステムモデルのデザインを実習する。	OATS413と同一。
01EK406	健康開発プログラム論 特講	1	2.0	1・2	秋A 秋AB	水7,8 集中	柴田 愛	行動科学の考え方を応用して、健康行動（主に、身体活動や運動）を推進させるプログラム開発に関する基礎的および専門的知識を獲得できるようにする。健康行動を推進させるプログラム開発に活用されている行動科学の理論やモデルの基礎的な考え方について理解を深めるとともに、それを応用した様々な実践例について学ぶ。	集中講義10:00~ OATS420と同一。 10/30, 11/27
01EK414	健康開発プログラム論 演習1	2	1.0	1・2	秋ABC	随時	柴田 愛	健康増進のための効果的な支援方策に関する最新情報収集、基礎知識構築、有効性・課題把握を行うための基礎的スキルを上げて、修士論文をまとめるための研究能力および問題解決力を高める。効果的な健康開発プログラムに関する近年の具体的事例を取り上げ、情報検索、論文読解、統計解析、プレゼンテーションスキルについて学習する。	OATS421と同一。
01EK415	健康開発プログラム論 演習2	2	2.0	1・2	春AB	金7,8	柴田 愛	健康増進のための効果的な支援方策に関する最新情報収集、基礎知識構築、有効性・課題把握を行うための応用的スキルを上げて、修士論文をまとめるための研究能力および問題解決力を高める。我が国及び諸外国において実践されている健康開発プログラムの中から自らが興味のある特定のテーマを決めて、その有効性と課題について文献的に検討・発表する(ディレクトリーディング)。これらの分析をもとに、学生それぞれの実践的な課題について演習する。	OATS422と同一。
01EK410	健康開発プログラム論 実習	3	1.0	1・2	通年	随時	柴田 愛	効果的な健康開発プログラムを計画・実行していく上で役立つ基礎知識と実践的スキルを学ぶ。学生の現職経験から導かれる健康開発プログラムの課題を取り上げ、現職域及び関連組織・機関等をフィールドにして、課題解決に向けた情報収集、健康開発プログラムの計画と実践、評価について実習する。	OATS423と同一。
01EK416	ヘルスプロモーション 研究方法論Ⅳ	2	2.0	2	秋ABC	随時	久野 譜也, 柴田 愛	文献レビュー、研究計画法、研究方法論、データ分析法、研究結果プレゼンテーション法などについて実践的に理解し、修士論文・特定課題研究報告書を作成することを目標とする。ヘルスプロモーションに関する学生の現職経験に基づく実践的な課題を取り上げ、その課題をシステムの視点から整理することにより専門研究にむけた課題に洗練する。この専門研究課題を現職及び関連組織等の状況にフィードバックしながら実践的問題解決のための研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて、現職経験を生かしたシュミレーションを行い、具体的な解決計画のモデル提案を目指した修士論文・特定課題研究報告の作成を指導する。	OATS464と同一。
01EK417	ヘルスプロモーション 研究方法論Ⅴ	2	2.0	2	春ABC	随時	久野 譜也, 柴田 愛	文献レビュー、研究計画法、研究方法論、データ分析法、研究結果プレゼンテーション法などについて実践的に理解し、修士論文・特定課題研究報告書を作成することを目標とする。ヘルスプロモーションに関する学生の現職経験に基づく実践的な課題を取り上げ、その課題をシステムの視点から整理することにより専門研究にむけた課題に洗練する。この専門研究課題を現職及び関連組織等の状況にフィードバックしながら実践的問題解決のための研究計画をデザインする。この研究計画に基づいて、現職経験を生かしたシュミレーションを行い、具体的な解決計画のモデル提案を目指した修士論文・特定課題研究報告の作成を指導する。	9月末修了予定者用 OATS465と同一。

2-2-2 選択専門科目(ストレスマネジメント領域)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK501	ストレスマネジメント システム論特講	1	2.0	1・2	秋A 秋AB	金7,8 集中		水上 勝義	ストレスマネジメントに関する知識と技能の習得と、ストレスマネジメントのシステム開発の理論と技法について習得する。ストレスの概念を理解し、ストレスがもたらす生体反応やストレスに関連した健康問題について学習する。さらに健康促進のための個人と社会におけるストレスマネジメントシステムについて学習する。	集中講義10:00~ OATS510と同一。 11/6, 12/4

01EK512	ストレスマネジメントシステム論演習1	2	1.0	1・2	秋ABC	随時		水上 勝義	学生の興味をもつストレスマネジメントシステム開発に関するテーマで、順に発表し、討議しあうことで学習を深める。職場、学校、家庭、地域などのストレスマネジメントシステムについて、その有効性や課題について、具体的な事例を取り上げ分権的な考察を行いながら検討する。この分析をもとに、学生の現職経験から得られる実践的課題を整理し、その課題解決に向けたストレスマネジメントシステムの効果的なモデルの作成について演習する。	OATS511と同一。
01EK513	ストレスマネジメントシステム論演習2	2	2.0	1・2	春AB	金7,8		水上 勝義	学生の興味をもつストレスマネジメントシステム開発に関するテーマで、順に発表し、討議しあうことで学習を深める。職場、学校、家庭、地域などのストレスマネジメントシステムについて、その有効性や課題について、講師陣を前にして各自の研究計画を発表する。講師陣とのインタラクティブなやり取りを通して、課題解決に向けたストレスマネジメントシステムの効果的なモデルの作成について演習する。	OATS512と同一。
01EK505	ストレスマネジメントシステム論実習	3	1.0	1・2	通年	随時		水上 勝義	現場での健康問題や社会問題の解決につながるストレスマネジメントの技能や、ストレスマネジメントシステムの開発技能を習得する。学生の現職経験から導かれるストレスマネジメントの具体的な課題を取り上げ、現職やそれに関連したフィールドワークを通して、課題解決に向けた情報収集を行い、また課題解決を志向したシステム開発について実習する。	OATS513と同一。
01EK516	ストレスマネジメントシステム研究方法論IV	2	2.0	2	秋ABC	随時		水上 勝義, 辻 大士	学位論文の作成のための研究計画法、研究方法論、研究分析法、研究結果プレゼンテーション法などについて一般的ガイダンスと具体的指導をおこなう。ストレスマネジメントシステムに関する学生の実践的研究課題に対応しながら、実践的課題解決に向けた研究計画をデザインする。その研究計画に基づいて、フィールドでの介入計画を実施し、そのプログラムの可能性と限界を行動科学的に明らかにする。修士論文・特定課題研究報告書の作成を指導する。	OATS564と同一。
01EK517	ストレスマネジメントシステム研究方法論V	2	2.0	2	春ABC	随時		水上 勝義, 辻 大士	学位論文の作成のための研究計画法、研究方法論、研究分析法、研究結果プレゼンテーション法などについて一般的ガイダンスと具体的指導をおこなう。ストレスマネジメントシステムに関する学生の実践的研究課題に対応しながら、実践的課題解決に向けた研究計画をデザインする。その研究計画に基づいて、フィールドでの介入計画を実施し、そのプログラムの可能性と限界を行動科学的に明らかにする。修士論文・特定課題研究報告書の作成を指導する。	9月末修了予定者用 OATS565と同一。
01EK521	コミュニティメンタルヘルス論特講	1	2.0	1・2	春AB	水7,8		辻 大士	社会的要因や国・地域の環境とメンタルヘルスとの関わりを学習する。さらに、それらの要因について、現状把握→課題設定→手がかり発見→実践・介入→効果検証→プログラム改善を円滑に進める、一連のマネジメントサイクルを学習する。	OATS520と同一。

3-2 関連専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EK607	スポーツ健康統計学特講	1	1.0	1・2	春B	集中		大藏 倫博	ヒストグラム、正規分布、平均値、標準偏差、相関分析について理解することを目標とする。統計学の初心者理解を促進するために、ヒストグラム、正規分布、平均値、標準偏差、相関分析などスポーツ健康統計学の基礎について、演習・実習形式の授業を取り入れつつ具体的に学ぶ。	集中講義10:00~ 履修は本学位プログラムの在籍生に限る OATS616と同一。 6/5, 6/19
01EK621	生活機能増進法論特講	1	1.0	1・2	秋C	水7,8		向井 直樹, 白木 仁, 竹村 雅裕, 鎌田 浩史, 福田 崇	身体特性を把握し、運動機能の向上に必要な運動プログラムを組み実践できることを目標とする。生活機能病(運動器の障害)に焦点を当て、生涯にわたって生活機能の向上(寝たきりの予防)法の開発やその指導法に関して学習する。臨床スポーツ医学的アプローチを含む。	OATS611と同一。
01EK622	健康増進基礎論特講	1	1.0	1・2	春C	金7,8		大森 肇, 足立 和隆, 國部 雅大, 松井 崇	健康増進の基礎的な知識、理解力、研究能力を高めるためにヒトの心身の形態、機能の自然科学的な知識、研究成果を学ぶ。心身の健康を維持・増進するためには運動、休養、栄養などの知識、研究が必要である。本授業では運動が心身に与える影響を運動解剖学的、スポーツ生理学、生化学、筋生理学、心理学の観点からそれぞれの専門家が概説し健康増進の科学的理解と研究に資することを目的とする。	OATS612と同一。
01EK623	健康社会論	1	1.0	1・2	春C	集中		武田 文, 門間 貴史	地域・職域における健康問題とその心理社会的要因および保健政策・保健サービス事業について学び、健康問題解決への社会的アプローチを理解する。乳幼児期・高齢期までの各ライフステージにおける健康問題を、家庭・地域・職場など生活領域別にとりあげ、各問題と社会環境要因との関わりを論じる。そして問題解決に必要な社会的支援策のあり方について、公衆衛生の観点から解説する。	集中講義9:30~ OATS613と同一。 7/3, 7/10

01EK624	健康支援の理論と実践	1	1.0	1・2	春C	木7,8		大森 肇, 坂入 洋 右, 木塚 朝博, 麻 見 直美, 大藏 倫 博	国民の健康の保持・増進に向けた理論と実際現場での具体的な支援のあり方について学習する。集団や個人を対象として、各種の疾患や健康段階、ライフステージにおける課題解決に向けたさまざまな健康支援方法の理論と実践について概説するとともに、その具体的事例について講義する。	OATS614と同一。
01EK625	ヒューマン・ケア科学概論	1	1.0	1・2	秋B	金7,8		近藤 正英, 柳 久 子, 森田 展彰, 水 野 智美, 伊藤 智 子	人を支援する課題に向けて、高齢者ケアリング学・社会精神保健学・生活支援学・保健医療政策学・福祉医療学など専門性の高い領域が連携し学問的な融合を目指すヒューマン・ケア科学の幅広い視座から、特にヘルスプロモーションに注目し医学・福祉学・保健学・看護学の理論と実践を学習する。実学としてのヒューマン・ケア科学について、その理論とアプローチの効果を概説する。また、子どもから高齢者の健康生活上の問題や虐待、生活リズムの変調、うつや自殺に関連する事項をとりあげ、人々の心身の安寧を脅かす現象を概説する。さらに障害福祉について諸外国の現状を比較すると共に、保健医療政策への応用としての経済学や今日的な課題についての生命倫理を講義する。	OATS615と同一。
01EK631	質的研究基礎論	1	1.0	1・2	秋A	集中		橋爪 祐美	質的研究の基本的理解として、発展の背景・経緯等を学習する。今回は質的研究の中でグラウンデッド・セオリーを取り上げ、受講者の課題等をもとにピギナーレベルのデータ収集および分析法について学習する。	OATS617と同一科目 OATS617と同一。 10/23, 10/24
01EK608	スポーツ健康科学論II	1	1.0	1・2	春秋ABC	集中			・スポーツ界、健康界の最前線で活躍する講師を迎え、スポーツと健康に関するトピックスを概観する。 ・スポーツや健康に関する高度専門職業人として現職を持つ修了生が、現場における問題の所在の究明や解決、および様々な実践に関して講義する。さらに、大学院本専攻で学び、研究したことがどのように活かされているのか、その方法論についても講義する。そして、研究した成果のさらなる進歩、今後の可能性について言及し、研究の視野を広げることを目指す。	開講未定 西暦奇数年度開講。 OATS671と同一。
01EK611	スポーツ健康統計基礎論	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中		田邊 解	スポーツ・ヘルスプロモーション分野で収集される定量的・定性的データを統計的に分析する基礎知識を学習する。また、科学論文作成を想定して、データの収集から整理、分析、及び解釈までの一連の手順を演習する。	集中講義10:00~ 履修は本学位プログラムの在籍生に限る OATS651と同一。 9/11, 9/25